

ボランティア活動グループ訪問記

ガマシマ

生活家電支援事業で生活困窮者を支援



梅雨も明け熱中症予防シートが発売されるほどの暑い日が続く7月29日(土)がみはひびのDGSパートナーに登録され、生活家電で生活困窮者の支援活動をしているNPO法人サテラ理事長庄田浩之さんにお話を伺いました。

当社は家電製品を扱うところ利用している上溝にある倉庫を訪ねました。倉庫は3つの一軒家で大家さんの好意で貸していただいているそうです。庄田さんは消費者庁認定食品ロス削減推進パートナーでもあります。

部屋に入ると先ず目に入ってきたのは、冷蔵庫。小型であるが冷凍室も付いている80Lの冷蔵庫が扉を開けた状態で整然と並んでいます。冷蔵庫は扉を閉めつつおしゃべりしながら良くなるのを聞いたままにしておきます。



サテラ代表の庄田さんと寄贈の冷蔵庫

他に加温器、電気ケトル、電子レンジなど、どれもまだ新しくきれいなままです。冷蔵庫、加温器はコロナ感染症の隔離病棟で購入されずに不要になった物を払い下げられたそうです。どれも200年前後の製造で新しい物です。家電製品は製造から7年以内の物だけを引き取っているそうです。

それ以前の物は、部品保存期間や、火災の原因になるなどの理由からで、また改造された物も引き取れないそうです。製品はホームページを見た方や、学生さんが卒業時の寄付による物などです。

支援を受ける方々は、ホームページを見た一般の方、市社協さん経由、青少年相談センター、高齢者支援センターの紹介による方々です。また、PRは市社協の広報紙、上溝地区社協の回覧板に掲載していただいているそうです。生活家電支援事業を始めたきっかけは、先に始めたフードバンク事業だったそうです。

(1) サテラの設立はいつですか？

平成29年の6月、11人で設立し、今、実際に活動している人は4人です。

(2) サテラ設立のきっかけは？

大学卒業後食品会社に入社、外食産業、中食、スーパー、コンビニのお惣菜製造会社と経験し、食品のロスの多さにもつたない、どこにかならないのかと思っていました。その後、NPO法人の無料低額宿泊所で施設長をやっていた時、施設に入居している人はNPOからの支援を受けられるが、入っていない人はどうするんだろという思いがあったので、フードバンクを始め、半年後に生活家電支援をプラスしました。

(3) サテラの事業内容は？

フードバンク事業、生活家電バンク事業、DV被害者支援、生活困窮者支援などです。フードバンクでの食品は市内の企業や福祉施設の備蓄品の入れ替え時、ホームページを見た一般の方、フードバンク神奈川などからの寄付です。

食品は賞味期限、消費期限があるため、配布時に正しく説明、伝えて提供しています。配布先は、子供食堂、みんなのきわい処、ホームページを見た一般の方、高齢者支援センターからの紹介などです。フードバンクの中には市の要請がないと支給しない所もありますが、サテラでは直接お届けて、生活状況を確認。行政と繋がっていない人をいかに繋げていくかがDGSに繋がっていきます。困窮状態であるが、どことも繋がっていない人達を繋げるツールとして活用しています。

食品は自らの部屋に保管しています。運営は、県の助成金で行っていますが、ガソリン代、家電などで消えていきます。身体的にいつまで続けていけるかなあと思っています。

サテラは食を通していろいろな事に気づき、繋げ広がっているですね。あがごとくお楽しみください。

(杉崎・小山)



寄贈されたいろいろな家電

サテラさんはボランティアスタッフ募集中!

(NPO) 特定非営利活動法人 サテラ  
理事長 庄田 浩之  
〒252-0243  
相模原市中央区上溝1906-4-4  
TEL 042-813-6363  
URL <http://npo-satella.or.jp>  
E-mail [h.shoda@npo-satella.or.jp](mailto:h.shoda@npo-satella.or.jp)